

効率の良い 積算担当者への 4つの習慣



目次

- 3 はじめに
- 4 習慣 1: 共同で作業する
テクノロジーを通じて共同作業を促進する
- 6 習慣 2: バージョン管理の熟知
クラウドベースのソリューションでバージョン管理を向上させる
- 8 習慣 3: 数量拾いプロセスを可能な限り合理化する
自動化とリアルタイムアップデートに焦点を当てた戦略
- 10 習慣 4: 2D と 3D モデルを融合させた新しい技術の採用
2D と 3D モデルにおける一元管理プラットフォームの活用
- 12 まとめ



はじめに

建設業は、より高い要求と大きなリスクを伴う、ますます競争の激しい業界になりつつあります。競争力を獲得し、それを維持するためにはテクノロジーの活用が重要です。そして、そのすべては積算担当者が起点となります。

効果的な見積もりは、手戻りや予算超過などのリスクを未然に防ぐことは、プロジェクトにおいて重要です。見積もりプロセスの精度を高めなければ、企業は収益を損なうリスクを負い、ひいてはそれ以上の損失につながる可能性もあります。[QuickBooks と TSheets が行った調査によると](#)、建設会社の 4 社に 1 社で、2～3 の不正確な見積もりが原因で、廃業に直結しています。

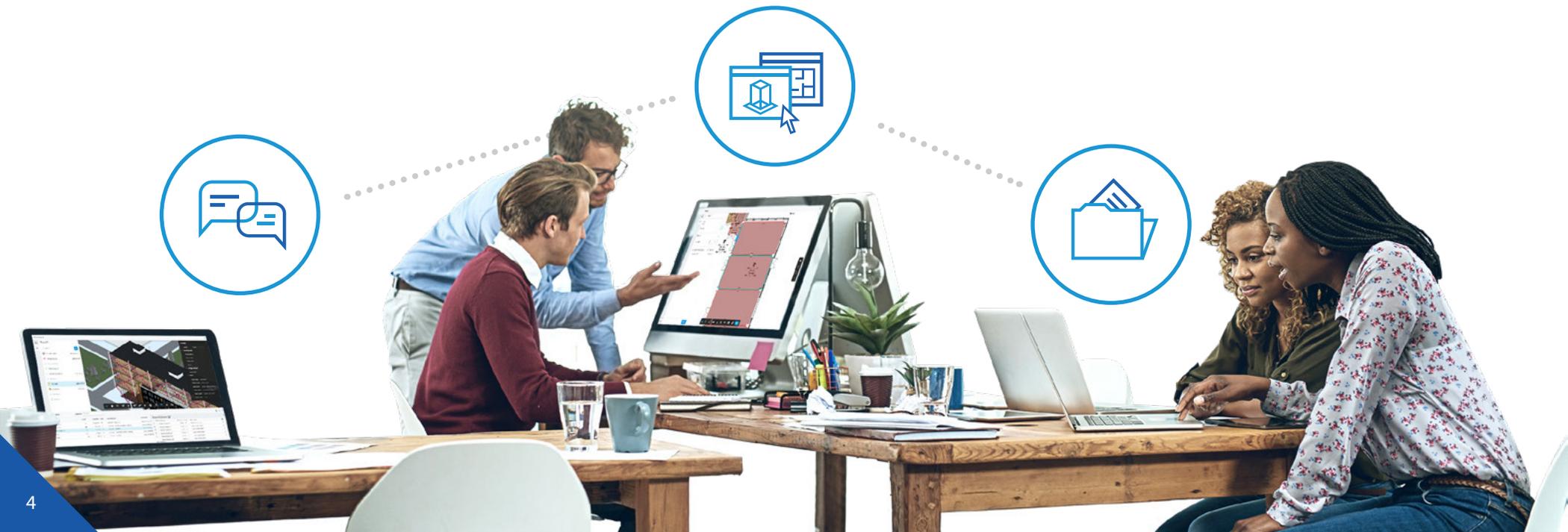
そのためまずは積算プロセスから、見積落ちや不正確な数量拾いによるリスクを減らすことが、建設業界での成功に不可欠です。

有能な積算担当者には、いくつかの重要な共通点がありますが、それは効率的かつ協調的に仕事をし、最先端の技術を積極的に取り入れるということです。この記事では、各分野でより高い規律を実践するための実例を挙げながら、効率の良い積算担当者の習慣を探っていきます。

1 共同作業

次の4つの習慣は、それぞれ効率的な積算担当者になるための極めて重要な要素ですが、積算担当者の成功に何よりも必要な特性は、おそらく共同作業の能力でしょう。共同作業は、積算担当者の業務における中心的要素です。初期の段階から最終的な見積の提出まで、積算担当者はプロジェクト全体を通じて関係者と連携して作業を進めます。

さらに、多くの場合、同じプロジェクト内には複数の積算担当者が配置されています。そのため、迅速かつ正確な連携および協働できることが重要です。積算担当者が別々のオフィスで仕事をしている場合には、その傾向がより強くなります。仕事の形態がよりバーチャルで遠隔的に変化している昨今、積算担当者にとって、共同作業を総合的に改善するための実践に注力することは、これまで以上に重要となっています。



テクノロジーを利用した共同作業の促進

共同作業は学習によって得られるスキルではありますが、適切な技術ソリューションを応用することでも改善できます。従来のExcel管理、サイロ化されたデスクトップソリューション、ぎこちないコミュニケーションの時代は終わりました。

クラウドベースのソリューションにより、積算担当者はリアルタイムで共同作業を行うことができます。

見積もりプロセスに新しいテクノロジーを

導入する際には、以下のすべての点において共同作業能力を向上させる製品が必要です。

- 積算担当者とその他の関係者が同じドキュメントにアクセスできる。
- ドキュメントにアクセスするすべての人に、更新が瞬時に表示される。
- 情報共有やメモをより効率的に行うためのコミュニケーションプラットフォームが提供されている。
- いつでもどこからでもアクセスできる。

テクノロジーが共同作業にどのような利点をもたらすかが容易に想像できます。積算担当者は、影響を受けるすべての関係者とリアルタイムでドキュメントを共有し、数量拾いプロセスを開始できます。また、それぞれが加えた変更は、リアルタイムで更新および表示されます。見積もりについて疑問が生じた場合、積算担当者は同じプラットフォームにログインして、即座に問題解決に向けて共同作業を行うことができます。

その結果、より正確な数量拾い、手戻りの削減が実現し、見積落ちのリスクも少なくなります。

2 バージョン管理の熟知

共同作業のプロセスには、適切なバージョン管理が不可欠です。バージョン管理がうまくいかないと、手戻りや計算ミスが発生し、最終的には利益の損失につながってしまいます。このため、すべての積算担当者が最新のプロジェクトファイルに基づいて作業していることを確認することが非常に重要です。

しかし、複数のチームが1つのプロジェクトに対して共同で取り組む場合や、とりわけ遠方の場所からの場合、この作業は困難を極めます。しかるべきドキュメントを探し出し、誰がどのドキュメントをいつ作成しているのかを把握するのは、時間のかかる作業であり、重大なミスを引き起こす要因となります。

より良いシステムを構築するためには、適切なテクノロジーを導入し、更新されたドキュメントを追跡するのに必要な時間を短縮することが重要です。



クラウドベースのソリューションでバージョン管理を向上させる

かつて、バージョン管理はストレスの溜まる作業でした。多くの場合、同じプロジェクトに参加する複数の積算担当者が、それぞれ自分のデスクトップ上にドキュメントを所有していました。これにより混乱が生じ、最終的にはドキュメントの統合を試みる必要がありました。

このプロセスを改善したいと考える積算担当者にとっては、クラウドベースのソリューションは理想的と言えます。新しい技術を採用するにあたっては、以下の要素が含まれていることが必要不可欠です。

- すべての関係者がリアルタイムにドキュメントへのアクセスがきる共通の作業環境。
- 古いバージョンが使用されている場合に、その旨を知らせる通知機能。
- 透明性と視認性に焦点が当てられた随時更新可能なドキュメント。

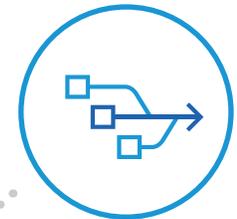
近年、技術の進歩は目覚ましいものがあります。クラウドベースのソリューションを使用することで、積算担当者は最新バージョンのファイルを探し出すのに費やす時間を減らし、精度の高い見積もりを作成することに集中できます。

③ 数量拾いプロセスを可能な限り合理化する

数量拾いのプロセスは時として面倒を伴います。積算担当者は、予想される材料の必要量と関連コストを正確に把握するために、多くの関係者の関与を必要とします。さらに、プロジェクトの範囲の潜在的な変更を考慮することの複雑さは、積算担当者が正確な数量拾いを実行する上で直面する大きな課題です。

同時に、数量拾いはプロジェクトの成功を方向付けます。不正確な数量拾いで大量の手戻りが発生すれば、間違いなく収益が悪化します。積算担当者は、数量拾いプロセスの改善に焦点を合わせる必要があります。しかし、数量拾いのプロセスに時間やリソースを費やすことは、非効率で作業過多になる可能性があります。

したがって、いつでもどこでも数量拾いプロセスを合理化することは、有能な積算担当者であるための重要な習慣です。これは、適切な戦略を採用することで可能となります。



自動化とリアルタイムアップデートに 焦点を当てた戦略

数量拾いプロセスの合理化に真剣に取り組んでいる積算担当者は、デジタルソリューションに焦点を当てた戦略にシフトする必要があります。適切なテクノロジーには、以下のようなプロセスに対する改善が提供されるべきです。

- 紙とペンによる手作業の数量拾いに代わり、デジタルの数量拾いを採用することによる時間の節約
- リアルタイムの更新による、手戻りや最新バージョンのファイルを見つけ出すのに要する時間を削減
- 複数の数量、複雑な数式、共同作業能力の向上を可能にする技術
- 一部の手動プロセスの自動化を提供するソリューションにより、積算担当者を手間のかかる作業から解放

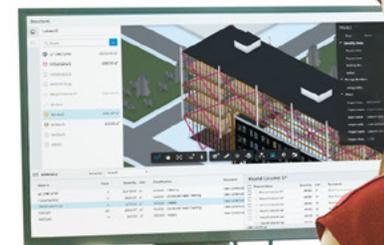
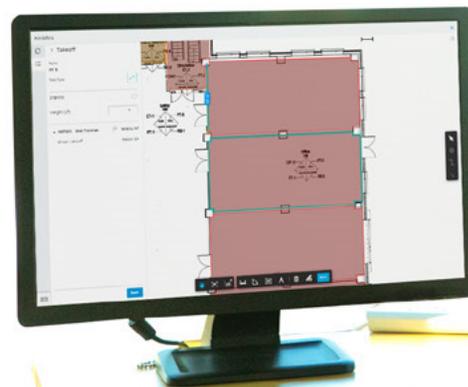
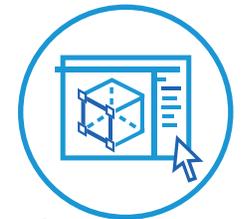
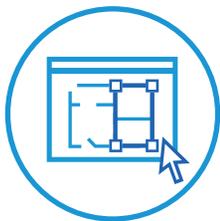
適切なクラウドベースのソリューションは、積算担当者が数量拾いでより多くの時間を節約し、同時に精度を向上させることを保証します。これは、下流にあるすべてのプロセスにプラスの影響を与え、プロジェクトのライフサイクルにおける中断を少なくします。

4 2D と 3D モデルを融合させた新しい技術の採用

最後に、積算担当者が効率化を図るために取るべき重要な習慣は、常に最新の技術的進歩を取り入れることです。3D モデルは BIM 管理者の領域と思われがちですが、積算担当者も設計意図を 3D で可視化し、全体像を把握することで、より正確な数量拾いを生成できるようになり、大きなメリットを享受できます。また、2D と 3D モデルを1つのプラットフォームに統合することで、BIM/VDC と積算担当者間のサイロ化を払拭し、多職種間の共同作業をより一層促進します。

これまで、2D と 3D の数量拾いは別々のアプリケーションで行われていました。そして、そのデータを手作業で組み合わせるといった面倒な作業が必要でした。そのため、しばしばエラーや見積落ち、不正確な情報が発生することがありました。さらに、2D と 3D のワークフローを組み合わせる従来の方法では、貴重な時間を費やし、納期の遅れにつながる可能性があります。

最新のテクノロジーを採用することで、積算担当者は業界をリードすることができ、関係者に顕著なメリットを提供することができます。



2D と 3D モデルにおける一元管理プラットフォームの活用

新しいプラットフォームを導入する場合、選ばれたテクノロジーは真に付加価値のあるものでなければなりません。プロセスの変更を行う場合と同様に、習得するまでにはトレーニングや時間の投資が必要です。しかし、適切なテクノロジーは、長期的なリターンが期待できるため、先行投資に見合うだけの価値があります。2D と 3D の数量拾いを一元管理するプラットフォームもその一つです。

[以下のメリット](#)を見れば、この変更が有意義なものであることは一目瞭然です。

- 2D と 3D の数量拾いを一元的に管理することで、プロジェクトの共同作業能力を向上させることができます。データを一箇所で確認できることで、数量拾いの際のミスや重複作業を減らすことができます。
- また、エラーをすぐに発見できるため、ミスの修正に時間をとられることなく、貴重な業務に集中することができます。
- クラウドベースのソリューションにより、積算担当者は建築家など他の主要な関係者とリアルタイムで並行して作業することができます。このため、積算担当者は設計のバージョンごとにリアルタイムで数量拾いを更新し、全員がプロジェクト予算を明確に把握することができます。

2D ドキュメントと 3D モデルを利用できる単一のプラットフォームを実現する技術は、透明性の向上、積算担当者による作業負荷の軽減、共同作業の強化に貢献します。その結果、数量拾いの精度が上がり、プロジェクトのスケジュールを加速させることができます。

まとめ

効率の良い積算担当者は、4つの重要な習慣を実践しており、これらはすべて、適切なテクノロジーを用いることでより高い効果を得ることができます。一元化されたプラットフォームを使用することで、積算担当者は正確な数量拾いを作成し、共同作業の強化とデジタルワークフローの合理化により、競争力のある入札を迅速に行うことができます。その結果、リスクを抑えながら、仕事の獲得率を上げ、納期を最適化することができるのです。

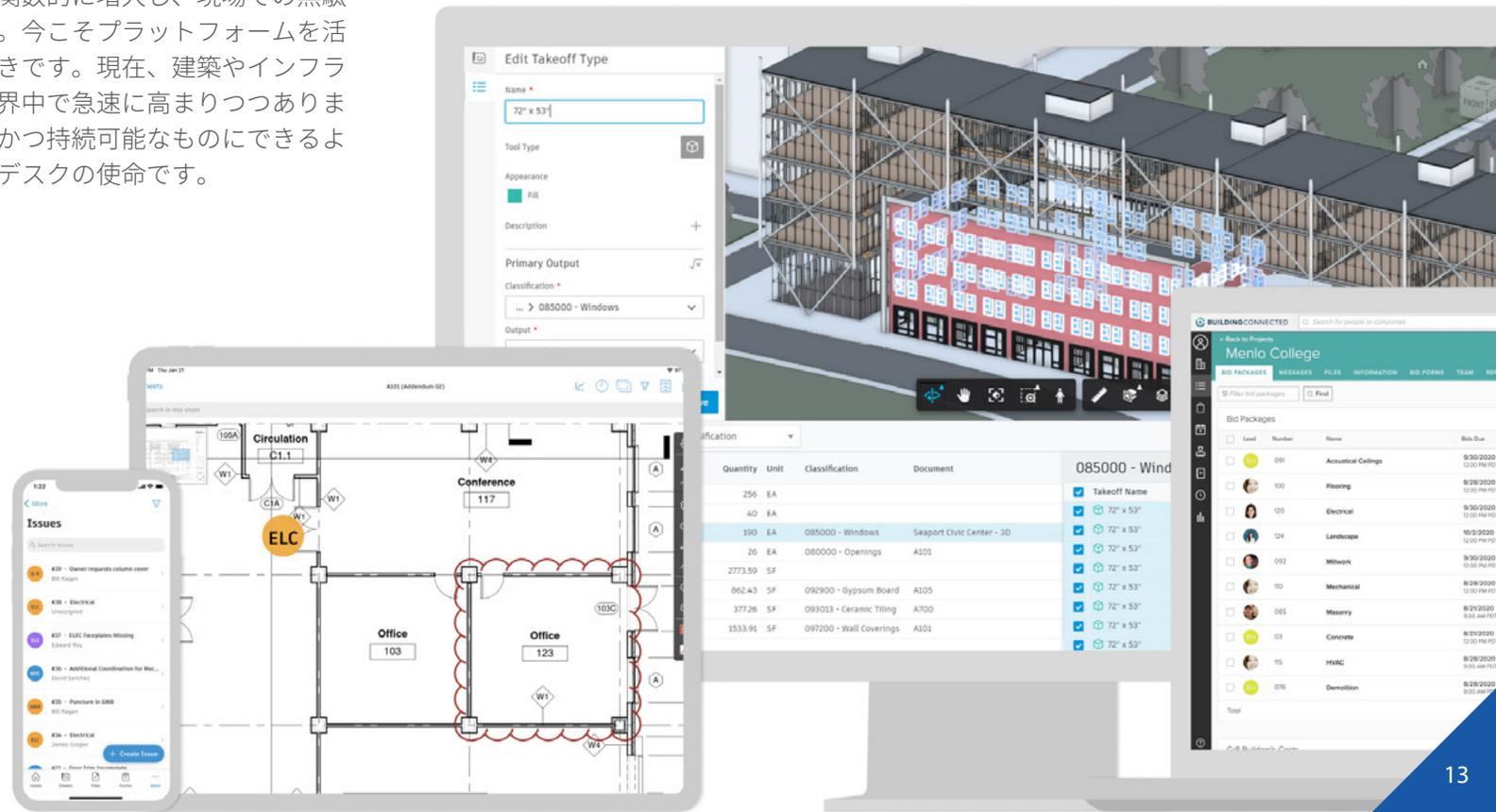
オートデスクの最新製品である Autodesk Takeoff は、数量拾いプロセスをより速く、より正確にするための多くの機能を備えています。その中でも最も新しいのは、クラウドベース環境での2Dと3Dの数量拾いを組み合わせたものです。業界をリードしたい積算担当者の方は、日常のワークフローを改善するための選択肢として、このテクノロジーをご検討ください。

コネクテッド コンストラクションの未来を覗いてみましょう

construction.autodesk.com

2018年に、オートデスクはお客様のデザイン&創造の未来を支援するために、建設を主要な注力分野とすることを発表しました。この実現に向け、Autodesk Construction Solutions と呼ばれる建設業界独自のリーダーシップレベルの組織が誕生しました。製品開発、カスタマーサクセス、マーケティング、サイト運用で構成された、ユニークな体制です。この組織は市場のスピードに敏感に反応するように構築されており、顧客が他のソリューションプロバイダと公平な競争ができるようにします。Autodesk Construction Solutions は、設計から計画、そして建設から運用まで、建設ライフサイクル全体をカバーする製品を提供します。Assemble、BIM 360、BuildingConnected、そしてPlanGridなどのクラウドベースのソリューションをまとめた Autodesk Construction Cloud もこれに含まれます。

当社のビジョンは、建設業界を活気で満たすことです。そうすれば予測性と生産性は指数関数的に増大し、現場での無駄はそれに比例して減少します。今こそプラットフォームを活用して業界の変革を進めるときです。現在、建築やインフラストラクチャのニーズが、世界中で急速に高まりつつあります。建設を予測可能で、安全かつ持続可能なものにできるように手助けすることがオートデスクの使命です。





オートデスクのソフトウェアを使用すれば、あらゆることが可能になります。設計され、作られ、使われる過程に劇的な変化をもたらす「ものづくり」の未来がここにあります。建築、エンジニアリング、建設、製造、メディア、エンターテインメントといった、あらゆる業界に変革の波が訪れています。適切な知識とツールを活用することで、その変革の波をチャンスにできます。当社のソフトウェアは、設計のプロ、エンジニア、建築家からデジタルアーティスト、学生、愛好家に至るまであらゆる人に活用されています。オートデスクの社員、お客様、パートナー、コミュニティを含めた、すべての立場を連携する新しい取り組みを行っています。われわれの最終的なゴールは、人々がより良い世界を想像し、デザインし、実現するチャンスを拡大することです。

ACS のリンク



© 2021 Autodesk. All Rights Reserved.